



# 宮田中だより 2019年 7月号

横浜市立宮田中学校 電話045-331-5288

## 特別活動（特活・tokkatsu） ～海外から注目されるもの・宮田の底力～

校長 上原 浩

7月に入り、すっきりとしない天気が続いています。昨年は体育祭の翌日（6/29）に梅雨が明けたので、「今年は遅い」と感じますが、平年値（過去30年間の平均値）での梅雨明け（関東甲信地方）は7月21日ごろなので、特に今年が遅いという訳ではないようです。1年前は西日本を中心に、豪雨による甚大な被害が出ました。これから夏季休業を迎え、行動範囲も広がります。的確な情報の収集と状況判断、そして、早めの行動を「あたりまえ」としてください。そして、「安全と健康」を第一に、「何にでもなれる可能性」にチャレンジしてください。



さて、本校の体育祭は、例年6月下旬に実施しております。空模様に一喜一憂しながらも、6月27日に予定通りに実施することができました。昨年も、そして今年も感じたことですが、宮田の子どもたちの底知れぬパワーと純粋な気持ちにはただただ驚かされまです。全員リレーでのコンマ1秒でも早く仲間にバトンをつなげようとする必死の走り。バトンを渡す際の仲間への一言。上級生がリードする学年を超えた応援。恒例の3年「スーパームカデ」では、途中で遅れたクラスを学年全員が駆け寄り、声をかけ、ゴールに迎える姿は、爽やかさそのものでした。また、各競技の開始前に仲間の健闘を祈る「円陣」が次々と組まれました。ある学年のリレーでは、走る前にアンカーが握手を交わしていました。そして、3年大縄跳び直前には学年全員で円陣が組まれ、共に3年間過ごした仲間同士が全力を尽くすことを誓いました。令和の幕開け、宮田中創立70周年を飾るにふさわしい心温まる体育祭であり、宮田の伝統は来年へと確実に引き継がれました。

体育祭実施にあたり、PTA 本部役員さんをはじめとする各委員・係の皆様、看護師ボランティアさん他、多くの方々の協力をいただきました。ありがとうございました。

話は変わりますが、文科省が定める「学習指導要領」の中で、体育祭をはじめとする宮田の子どもたちが熱く燃える様々な学校行事は、「特別活動」という教育活動の枠組みに位置づけられています。日本の学校教育では、「教科の学習」以外に、「特別活動」等が明記されています。一方、学校教育で「特別活動」が扱われている国は、意外と少ないようです。州や市によって異なるようですが、欧米の国で「特活」を行っている学校はかなり少ないと聞いています。日本ではあたりまえのように長年培われてきた体育祭等の学校行事や掃除、当番活動は、近年「tokkatsu」という言葉で海外から注目され、日本への教育視察は年々、増加しているそうです（是非、宮田の体育祭や文化祭を見てもらいたいです）。宮田の子どもたちは、当初は、いかに勝つかを話し合い、工夫を凝らし、合意を形成し、うまくいかなければ意見を戦わせ、時には揉めたりもする。最後までうまくいかないこともある。子どもたちにとって、失敗も成功も、「勝ち・負け」を超えた大きな学びの場となっています。文化祭でも宮田の子どもたちの輝く姿を楽しみにしています。

保護者・地域の皆様、長期休業中は、普段以上にお世話をおかけいたしますが、引き続き宮田の子どもたちをあたたかく見守ってくださいますようお願い申し上げます。



※昇降口近く、「ほっとルーム」前の掲示板には体育祭の写真を展示しております。

ご来校の際は是非、ご覧ください。

## 「悔しさをばねに！～(いったん)引退した3年生へ～」

先日、あるテレビ番組で、かつて日本のトップアスリートであった一人の陸上選手が、小学生に指導する場面で、「悔しい思いはたくさんしてきた。その思いを忘れずに、次の大会を目指してきた。」と語っていました。オリンピックのメダリストでさえ、満足できた試合はそうはなかったようです。7月を迎え、多くの3年生が、部活動やクラブチーム等で最後の大会に臨みました。悩んだこと、辞めたかったこと、人間関係がうまくいかなかったこと、試合に出るチャンスが巡ってこなかったこと等々あったことでしょう。よく続けてきました。お疲れ様でした。自分の足跡をしっかりと振り返り、次へとつないでください。その気になりさえすれば、きみたちの勝負する舞台は、これからまだまだ、たくさんあります。家族や顧問の先生をはじめ多くの人々の支えがあったことも忘れずに！



## 校舎外壁工事中～創立70周年式典を控え、化粧直し？～

7月に入り、宮田の校舎に足場が組まれ、大がかりな工事が始まりました。これは、一部の校舎の外壁修理とサッシの交換を行うためのものです。宮田の沿革誌を見ると昭和52年(1977年)3月に「新鉄筋三階校舎落成」と記載があり、その後木造校舎が解体されました。ですから、現校舎は建てられてから40年以上経過しています。そのため、目には見えない部分まで傷みが進み、安全のためにも補修が必要になってきました。昭和63年(1988年)に体育館・プールが落成し、現在と同じ校舎配置が完成しました。右の写真は「創立40周年」の時のものです。外観はほとんど、現在と変わっていません。



工事中はガードマンを配置し、安全には十分に注意を払って工事を進めて参りますが、どうしても日常の活動に制約が生じます。また、工事車両の出入り、強風時の飛散物や落下物等、十分気をつけてください。近隣の方には、工事車両の侵入や騒音等でご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどをお願い申し上げます。完成は「創立70周年式典」直前の10月上旬です！

### 7・8月のおもな予定

7/8(月)～12(金)個別面談  
19(金)1学期終業式  
※8/13(火)～16(金)は、**学校閉庁日**とさせていただきます。  
8/27(火)2学期始業式  
8/27(火)～30(金)教育相談



### 9月のおもな予定

9/2(月)総合防災訓練  
11(水)2学期定期試験(理・英・音)  
12(木) // (国・数・技家)  
13(金) // (社・保体・1・2年美/3年学)  
19(木)2年進路説明会  
20(金)Fマリノス食育授業(1年)  
※10/4(水)3年英検 授業参観/懇談会



## 『学校閉庁日』について

横浜市立学校では、「学校閉庁日」を設定しています。この期間は、対外的な業務(電話の問い合わせ、学割等証明書類の発行)を行いません。閉庁期間内で、緊急なご用件は、「西部学校教育事務所(教育委員会)」まで連絡をお願いいたします。なお、閉庁期間並びに、平日の夜間・土日祭日の終日は、宮田中学校の電話は留守番電話となります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

学校閉庁日の期日

令和元年8月13日(火)～16日(金)

閉庁期間中の緊急連絡先  
電話

横浜市教育委員会西部学校教育事務所

045-336-3743(閉庁日の8:30～17:15)

### 【参考:24時間相談対応窓口】

- ・横浜市いじめ110番(いじめ、悩み、困ったこと 0120-671-388)
- ・神奈川県24時間子どもSOSダイヤル(0466-81-8111)
- ・文部科学省24時間子供SOSダイヤル(0120-0-78310 なやみ言おう)
- ・110番(警察) ・119番(救急・火災) ・189番(児童相談所全国共通)

※学校予算・決算を「宮田中学校ホームページ」に掲載しております。

